

## 遺族会による戦争講話

12月8日、宮ヶ瀬小学校の4～6年生6人を対象とした平和教育として、清川村遺族会による戦争講話が行われました。

遺族会からは、山口静雄会長、石川初代副会長、岩澤和明監事が参加。戦争の経緯の説明から始まった講話の中では、戦争によって失った家族への悲しみや戦争により困窮した衣服や食料などの苦しい思い出などが語られました。

講話の終わりには、山口会長から「戦争を絶対に繰り返してはいけない」と切実な想いが届けられ、子どもたちは遺族会の方々に当時の生活に関して質問するなど熱心に聴き入っていました。



## 村長が登壇 児童らに講話

村立緑小学校で1月19日、緑小学校・宮ヶ瀬小学校に通う6年生の児童27人を対象に、岩澤村長による特別授業が行われました。

これは、2月22日に開催予定の子ども議会に先立ち、村の将来を担うきよかわっ子たちに村について興味を深めてもらうために実施されたものです。

登壇した岩澤村長は、「みんなで考える村づくり～6年生のみなさんといっしょに～」をテーマに、村の歴史や歩み、施策について説明されたほか、「よりよい村づくりのために何が必要か、皆さんにも一緒に考えてほしい」とお話をされると、児童らは講話を聴きながら熱心にメモを取るなど、村の将来を真剣に考えているようでした。

子ども議会を前に、自分たちの住む地域について知り、見つめなおす良い機会となりました。

